

私学助成署名推進ニュース

全国私私学助成をすすめる会

(事務局：全国私立学校教職員組合)

No.50 2020年12月24日(木)

京都：府知事へ7万9,012筆の要請署名を提出（12/21）

12月21日(月) 京都私学助成をすすめる会が7万9千筆の知事宛要請署名を提出しました。



全国署名
 去年同期比96.51%
 327万9728筆へ

栃木：昨年実績超過!!

愛知・福岡：

自主目標突破

あんしん修学支援制度の更なる拡充と他府県との相互乗り入れの拡充を要望

コロナ禍の情勢の中、京都私学助成をすすめる会：三宅会長、立命館宇治：三宅さん、鈴木事務局長の3名で提出へ。京都府文教課からは勝山課長、須田課長補佐のお2人が対応しました。すすめる会は「あんしん修学支援制度の2020年度実質無償化の拡充」と「家計急変に関する学費無償制度の制度拡充と制度維持」について、謝意を伝えました。

同時に「特に中学校部分での経常費助成が国単価を下回る問題」「他府県からの生徒に対する“制度の相互乗り入れ”に向けて他県への働きかけを強める課題」「府から国への政策提言に引き続き“国から910万円まで年40万円の就学支援金”の要望を続ける課題」「コロナ禍で家計急変の状況が、数年にわたって続くことになった際の補助の継続」「補助制度についての周知の徹底」を要請しました。

また、「一斉休校時の遠隔授業での、通信環境の家庭間の格差の課題」「働き方改革ともなって部活動のあり方にかかわって私学に関しても支援のあり方を考える必要がある点」「知事の掲げる“子育て環境日本一”に関わって、『あんしん修学支援制度』は、若い世代が京都に住みたいと思える長期的に見ても大事な政策であること」などをお伝えし、さらなる制度拡充をお願いしました。

これに対し勝山課長からは「毎年いただく私学助成署名は、制度を維持していく上で重要な役割をしている。」「特に今年のコロナによる状況で、財政当局からは厳しいことが伝えられている中で、現場の声を伝える意味で大事」「学校からもご家庭からも相談をたくさん受けている。不明なこと、不安なことがあれば、ぜひ相談してほしい。できる限り対応して支えたい。」「他県への補助については、京都から他県に比べて、京都に来る生徒のほうが多く、バランスを考えるとすすめることが難しい状況」と回答がありました。しかし「府としては（他府県へ）従来から相互支援の考え方に立って要請している。コロナの状況が改善すれば、今後も働きかけをしていく。」また、教育条件を拡充させる点については、「経常費の部分は以前よりご指摘され承知している。なんとか制度を維持していく上でご理解いただきたい。」と加えて回答がありました。

学費負担軽減の切実な思いが署名に

スタートの遅れもあった知事宛陳情署名でしたが、その遅れを取り戻すかのような想定以上の集まり方となりました。そこには、高校生の47%が私学に通う京都では、切実な学費補助の拡充要求の現れといえます。またコロナ禍による家計急変への対応も切実な課題です。

各県でもこうした思いを2月の署名提出まで集約していきましょう。

	自主目標	11月末	12/4集約	12/10前日集約	12/11集会集約	12月末
北海道	50,000	28,864	29,156	29,265	29,265	29,265
青森		48,426	48,426	48,426	48,426	48,426
岩手	84,800	64,828	67,108	67,108	67,108	67,108
山形	100,000	27,585	27,585	78,000	81,000	81,000
宮城	15,500	1,620	2,500	11,142	11,142	11,142
福島	30,000		3,386	3,386	3,386	3,386
茨城		14,183	14,183	14,183	14,183	14,183
栃木	5,000	4,363	4,363	4,948	4,948	4,948
埼玉		39,000	39,000	39,000	40,024	40,024
千葉	100,000	35,000	40,000	40,000	40,000	40,000
東京	300,000		51,369	51,369	51,369	108,672
神奈川	710,000	33,324	86,410	86,410	86,410	86,410
新潟	120,000	44,000	56,074	56,074	56,074	64,000
富山					4,800	4,800
石川	20,000	2,130	2,130	2,130	2,130	2,130
愛知	2,000,000	1,556,437	1,782,393	1,782,393	2,047,377	2,123,783
岐阜	130,000	64,047	64,129	64,129	64,129	64,129
滋賀	150,000	31,300	31,300	31,300	50,520	50,520
京都	100,000	38,000	38,000	38,000	38,000	74,598
大阪	200,000		36,094	75,784	75,784	75,784
奈良	30,000	8,513	8,513	8,513	8,513	8,513
兵庫	100,000	64,572	64,572	64,714	64,714	64,714
島根	1,000	593	593	593	593	593
岡山	100,000	19,000	19,000	19,735	19,735	19,735
広島	30,000	1,500	1,500	11,666	11,666	11,666
山口	39,000	12,951	12,951	12,951	13,513	13,513
香川	30,000	4,161	4,161	5,843	5,843	5,843
愛媛	3,000	0	0	0	0	0
高知	50,000	14,893	14,893	14,893	14,893	26,724
福岡	50,000		104,000	104,000	104,000	104,000
佐賀		20,000	20,000	20,000	20,000	20,000
熊本	60,000	5,089	9,800	10,119	10,119	10,119
	4,646,500	2,184,379	2,683,589	2,796,074	3,089,664	3,279,728

私学助成全国署名が12/24現在、327万9,728筆と去年同期比96.51%に到達しました。12/11集会まで、11/30、12/4、10、11当日と4回の報告に、繰り返し応える組織もあり、ここまでの到達点となりました。県向け署名にとりくまずに国向け署名を昨年と同じ目標でとりくんだ愛知は全国を先導しています。また、小さな組織でも、昨年数を上回る目標を掲げる中で昨年集約数を突破した栃木の奮闘も光ります。昨年数の99%に達する岩手も、全国の教訓となるとりくみを発信してくれています。

こうした県のとりくみに応え、全国で昨年数を上回る集約をめざして、2月中旬まで方針をもって奮闘していきましょう。